

国際交流状況調査「派遣研究者、受入れ（雇用、雇用以外）研究者 記入チャート」

■貴機関による外国人研究者の「受入れ」について下記のとおりです。

対象者は、貴機関が「雇用している」「（講演等で招へいた）受入れを行っている、行った」外国人研究者

◇貴機関による外国人研究者の「短期受入れ（雇用、雇用以外）」について下記のとおりです。

対象研究者 前所在地	受入れ	短期			左記項目例（貴機関：東京大学）
		回答の要不要	国・地域	該当機関（の職位）	
海外	雇用	不要※対象外（注意事項参照）			アメリカのハーバード大学に所属していた外国人研究者を東京大学が教授として短期で雇用
	雇用以外	要	前所在地（海外）	雇用されている機関	アメリカのハーバード大学に所属している外国人教授を東京大学が短期招へい（講演等）
日本国内	雇用	不要※対象外			理化学研究所（日本）に所属していた外国人研究者を東京大学が助教として短期雇用
	雇用以外	不要※対象外			理化学研究所（日本）に所属している外国人教授を東京大学が短期招へい（共同研究等）

◇貴機関による外国人研究者の「中・長期受入れ（雇用、雇用以外）」について下記のとおりです。

対象研究者 前所在地	受入れ	中・長期			例（貴機関：東京大学）
		回答の要不要	国・地域	該当機関（の職位）	
海外	雇用	要	前所在地（海外）	貴機関	アメリカのハーバード大学に所属していた外国人研究者を東京大学が教授として中・長期雇用
	雇用以外	要	前所在地（海外）	雇用されている機関	アメリカのハーバード大学に所属している外国人教授を東京大学が中・長期招へい（共同研究等）
日本国内	雇用	不要※対象外			理化学研究所（日本）に所属していた外国人研究者を東京大学が助教として中・長期雇用
	雇用以外	不要※対象外			理化学研究所（日本）に所属している外国人教授を東京大学が中・長期招へい（共同研究等）

「対象研究者前所在地」について、外国人研究者が来日する前の（海外の）所在地として該当する「国名コード」を記入してください。

■について、所在地を「日本」とする「機関」から「貴機関」への「研究者受入れ」は対象外です。

■について、海外の機関に雇用されている研究者が、（対象外の）日本人か判別がつかない場合は回答の対象とします。

※日本人か判別がつかない場合として、国籍が日本か分からない場合、及び、氏名で判別できない場合（日本人と外国人のハーフ等）の2とおり。

■について、「短期・雇用」を指しますが、該当するケースがほとんど無いと思われます。また短期（30日以内）の雇用を制度として採用していない機関もあると思います。

■について、例外として平成26年3月中に貴機関に「任期なし」で雇用された場合、**中・長期受入れ（雇用）**に該当する外国人研究者の情報を入力してください。

■貴機関による日本人・外国人研究者の「派遣」について下記のとおりです。

対象者は、「調査票2-0基礎データ」に該当する日本人・外国人研究者となります。